

# ネパールから来た ライ インドラです!

拡大版  
国際交流  
コーナー



エベレスト登山のベースキャンプまでのガイドがライさんの仕事。左の大きな荷物を背負った人は、シェルパと呼ばれる登山ガイドさん。

近年、国際間で移動・通信手段が発達したこともあり、多くの外国人が来日し、ここ尾道でも沢山の外国人の働き手が増えています。今回はネパール出身で尾道の観光業に携わっている、ライ インドラ バハドゥルさん(36歳)をご紹介します。

## ■ ナマステ(こんにちは)、ライさん! 2018年に来日したと伺いましたが、日本語が上手ですね。

ナマステ!ネパールにいますとき、首都カトマンズの会社でヒマラヤ山脈のトレッキングガイドをしていました。日本人のガイドの仕事が多かったので語学学校へ行って日本語を勉強しました。英語も少し話せます。



## ■ なるほど、どおりで。ライさんの家族もガイドをされていたのですか?

両親は農家ですが、叔父がガイドをしていました。まだ私が16歳くらいの頃、叔父に連れられて日本人男性のカンチェンジュンガ山ガイドのアシスタントを

しました。お客さんと日本語で話をする叔父の姿がとても格好良く見え、私もガイドの仕事をしよと決心しました。

## ■ ヒマラヤのトレッキングガイド時代、心に残るエピソードがあればお聞かせください。

先述の日本人のお客さんと仲良くなることができ、彼から「あなたに日本語を勉強してほしい」とお願いされました。彼が帰国した後、日本とネパールとの間で文通やメールでやりとりが続き、日本の本や珍しい物なども送ってくれたことが日本語を勉強し続けるモチ



ヒマラヤでのガイド時代のライさん。(中央) 心なしか今より精悍な感じが…。

ベーションに繋がっていきました。私が日本語や日本の文化を学ぶ為に日本に来た時には必ず彼の自宅に招いてくれました。今でもお付き合いが続いており、日本の親のように思っています。もし、この日本人男性と出会っていなかったら、日本語の勉強やトレッキングガイドも続けていなかったと思います。

## ■ その日本人男性との出会いがライさんを日本へ導いたのですね。

ところで一般的にネパールでは日本の国は知られているのですか?

インドなど近くの国を除いて、一番よく知られている外国はアメリカですが、ニュースで総理大臣が変わったとか災害があったとか、日本のことはよく報道されるので皆知っています。

## ■ それは意外です。来日前のイメージと実際のギャップはありましたか?

ヒマラヤの山々には日本人をはじめとした多くの外国人が訪れますが、結構ごみが捨てられています。日本人のお客さんは、自分たちの分はもちろん他人の残したごみも拾ってくれます。最初はびっくりしましたが、そのうち日本人は真面目だと感心するようになりました。あとガイドの先輩から、日本はとてもキレイで、ネパールではありえないことに、時間通りに公共交通機関が運行していると聞かされていました。日本に行ったことを自慢げに言っているなと思っていましたが、実際来てみるとその通りでした(笑)。初めて成田空港に着いた時の驚きといたらなかったです。

## ■ 日本はライさんにとっていい印象だったのですね。では尾道はどうでしょう?

最初は妻に連れられて千光寺公園の展望台へ行きました。そこで海と山が一体となった景色にとっても感動し、「何故もっと早くここに連れてきてくれなかったの?」と文句を言ったことを覚えています。その時の感動が、今の仕事に繋がっています。

あと、日本にいる友達に尾道で働いていると伝えると、みんな「尾道!知ってるよ!」と言ってくれ、なんだか嬉しくなります。

## ■ 奥さんは日本人ですよ。馴れ初めなど教えていただけますか?(笑)

(照れながら)エベレストで彼女のガイドをしたことがきっかけです。最初はなんとも思っていなかった(本当ですよ!)のですが、1か月一緒にいる間に心が惹かれていき、彼女が帰国する時にお付き合いをお願いしました。幸いにもOKしてもらうことができ、半年後に結婚しました。その後、彼女の実家がある隣の三原市に来ることになりました。先月、息子の飛真琉(※ネパール語でヒマラヤの意)も誕生し、とても幸せです。



二人が出会った時の写真。このときは結婚するとは夢にも思っていなかったでしょうね。



ネパールでの結婚式の様子。華やかな色彩です。



奥様の麻紀さん、息子のヒマール君と。とても幸せそう。

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。日時・期間 申込方法 申込先 掲載所 対象 内容 定員 料金 持参物 電子メール 締切

くらしの窓

健康・福祉

子育て

スポーツ

芸術・文化

情報アラカルト

相談